

全国小企業月次動向調査

(2010年7月実績、8月見通し)

[概況] 小企業の売上D I、2カ月連続で上昇

1 売上

7月の売上D I (全業種計、季節調整値) は、6月 (▲30.0) と比べて、2.5ポイント上昇し、▲27.5となった。D Iの上昇は2カ月連続である。8月は▲28.0と低下する見通しとなった。業種別にみると、製造業は2カ月ぶりに低下する一方、非製造業は2カ月連続で上昇した。

2 採算

採算D Iは6月 (▲21.8) と比べて、4.2ポイント上昇し、▲17.6となった。D Iの上昇は2カ月連続である。前年同月の水準は8カ月連続で上回っている。8月は▲20.0と低下する見通しとなった。

<トピックス>

売上D I と毎月勤労統計 「厳しさや和らぐ所得環境、内需中心の小企業にとって追い風となるか」

<問い合わせ先>
日本政策金融公庫 総合研究所
小企業研究第2グループ
TEL 03-3270-1691
担当 藤田、石原

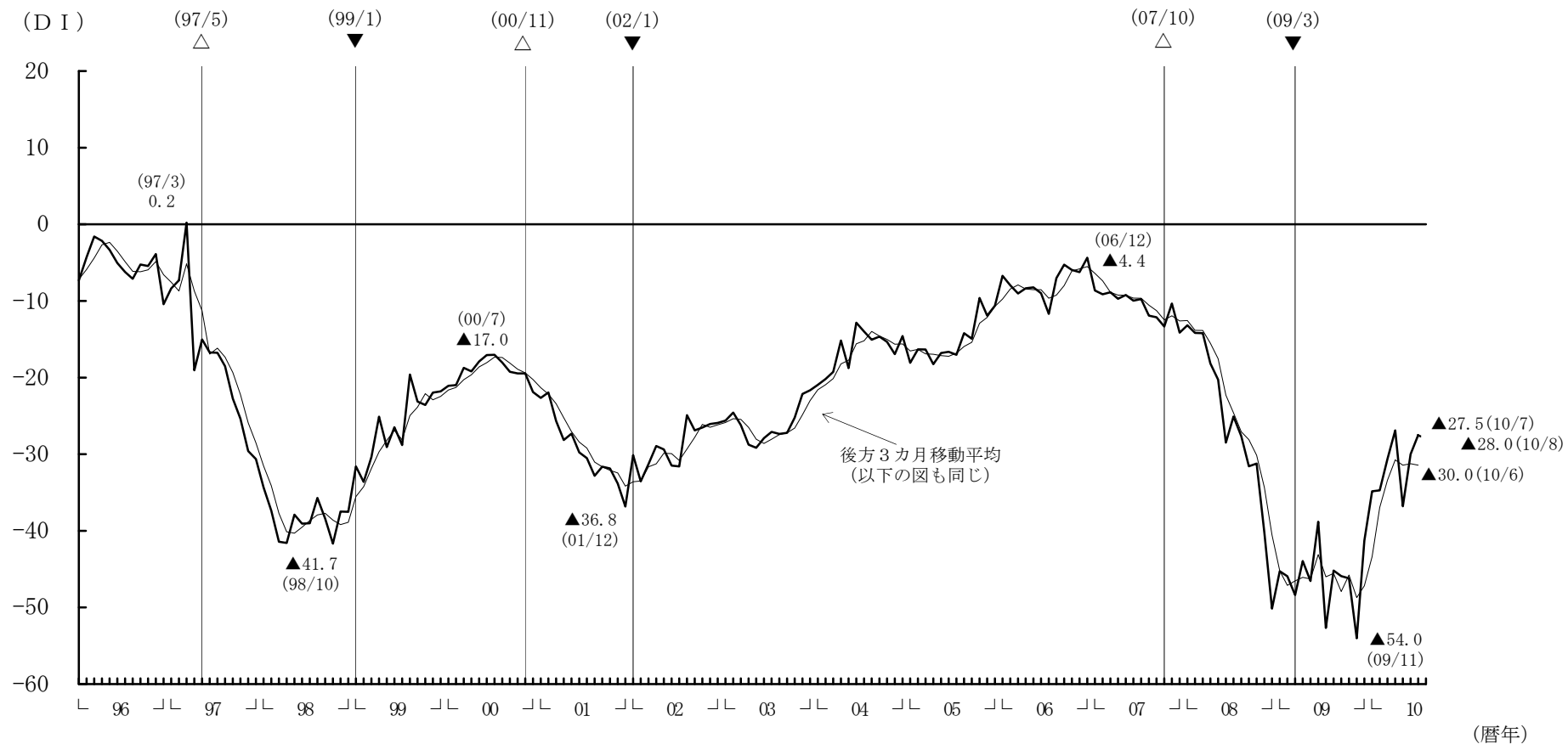
[調査の実施要領]

調査時点	2010年8月上旬
調査対象	当公庫取引先 1,500企業 製造業（従業者20人未満） 卸売業（同 10人未満） 小売業（同 10人未満） 飲食業（同 10人未満） サービス業（同 20人未満） 建設業（同 20人未満） 運輸業（同 20人未満）
有効回答数	1,131企業 [回答率75.4%]
調査項目	1 売上 7月実績、8月見通し 2 採算 7月実績、8月見通し

1 売上

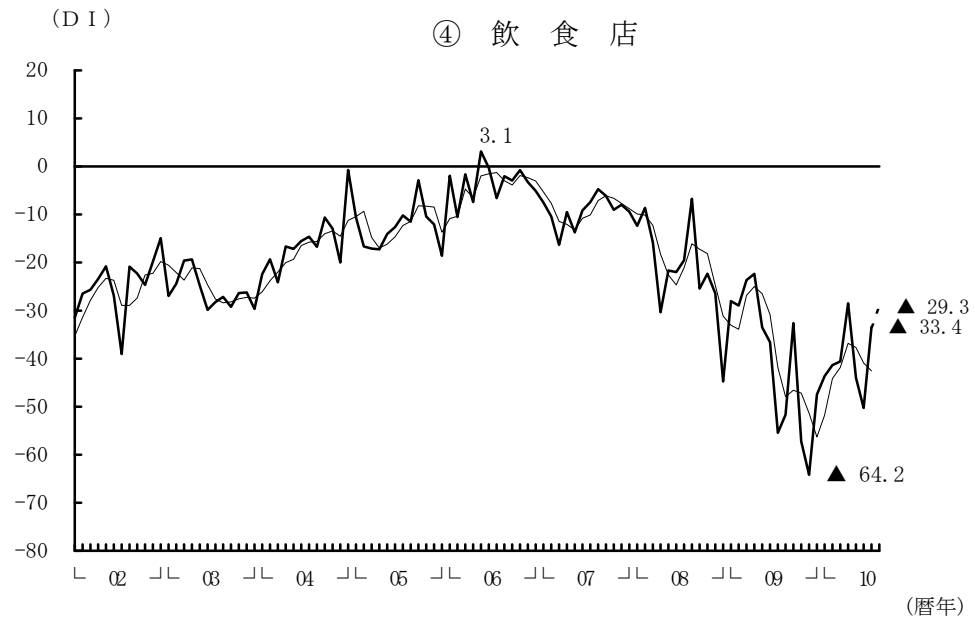
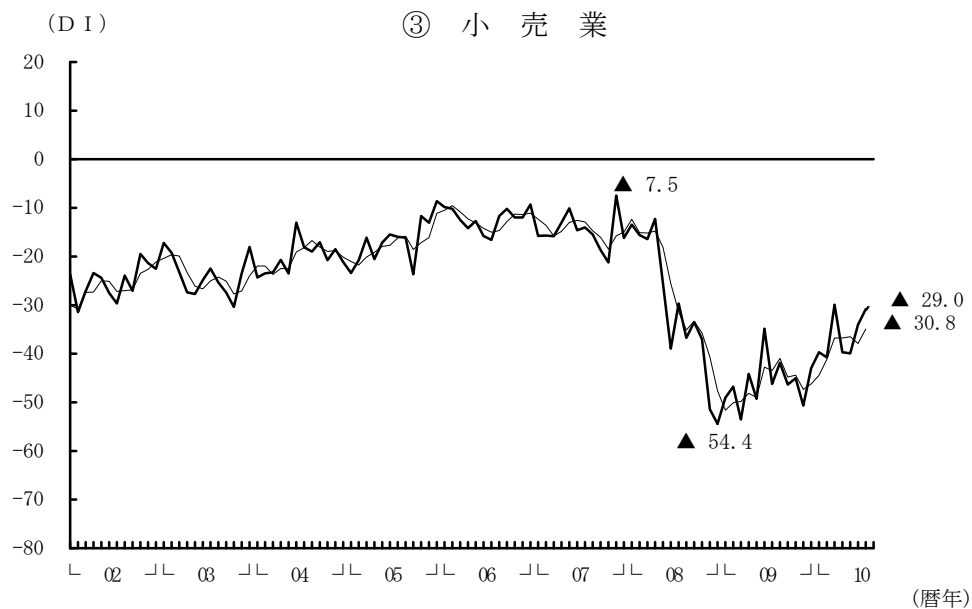
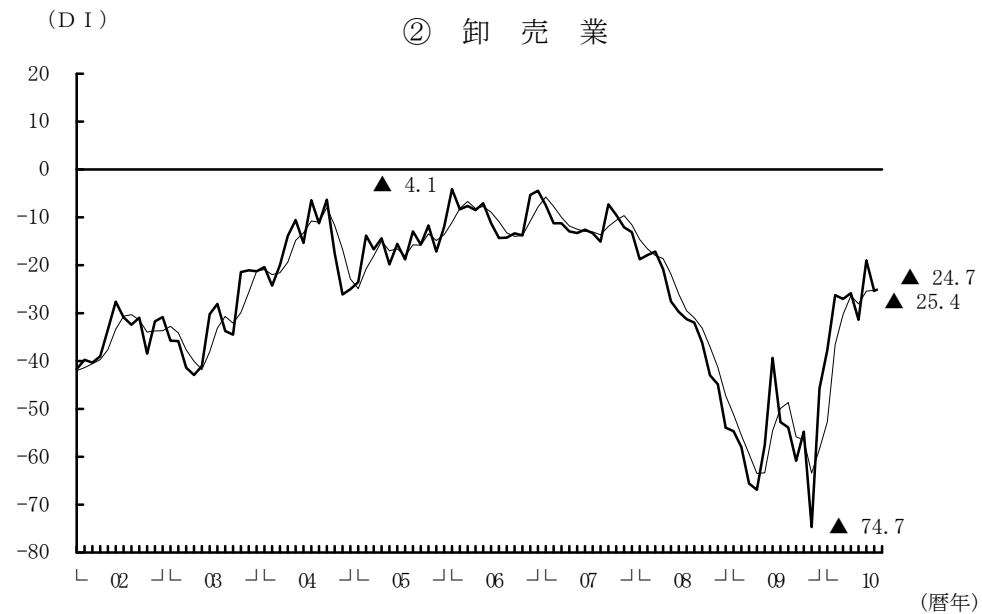
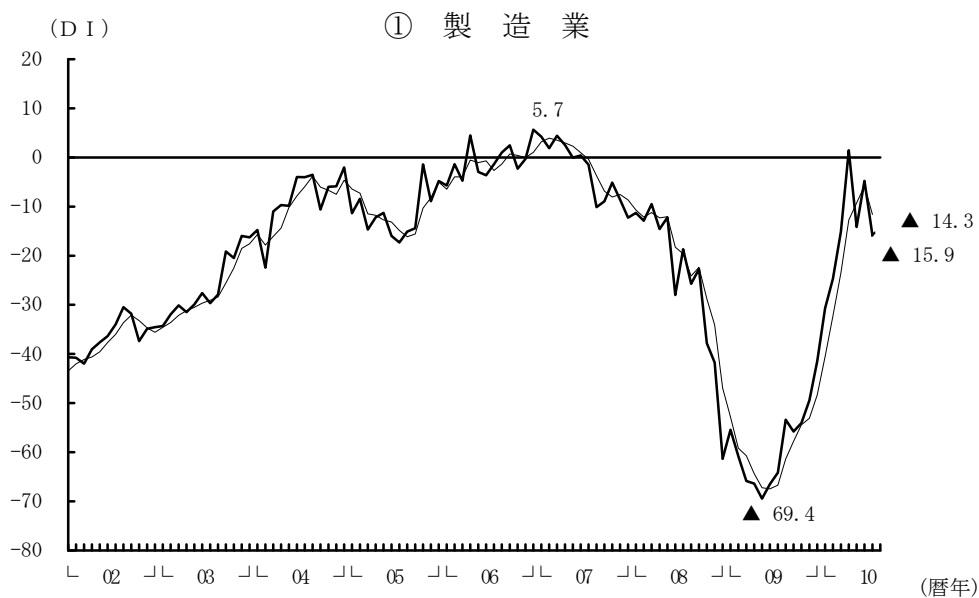
図-1 売上D Iの推移（全業種計、季節調整値）

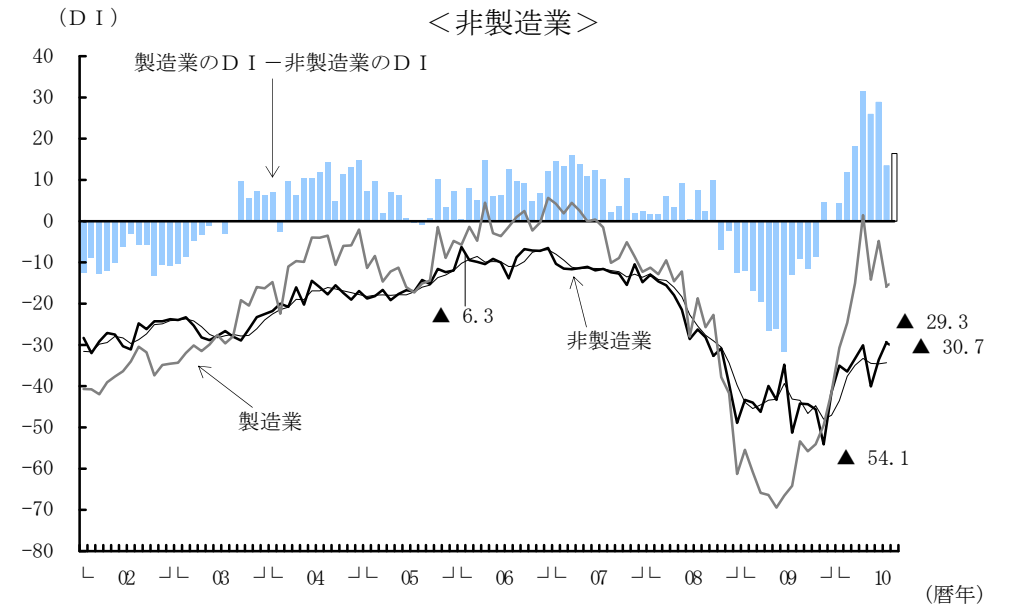
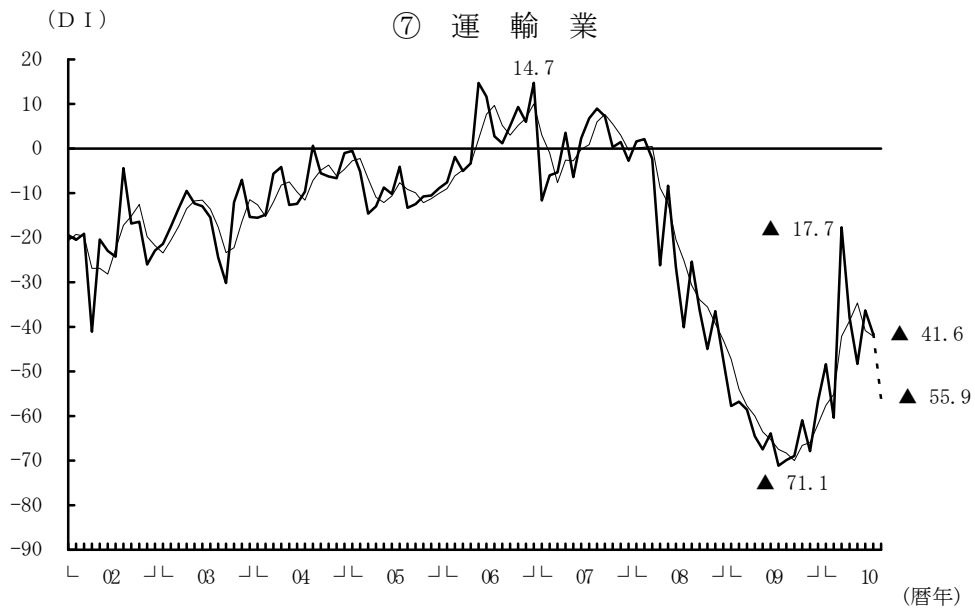
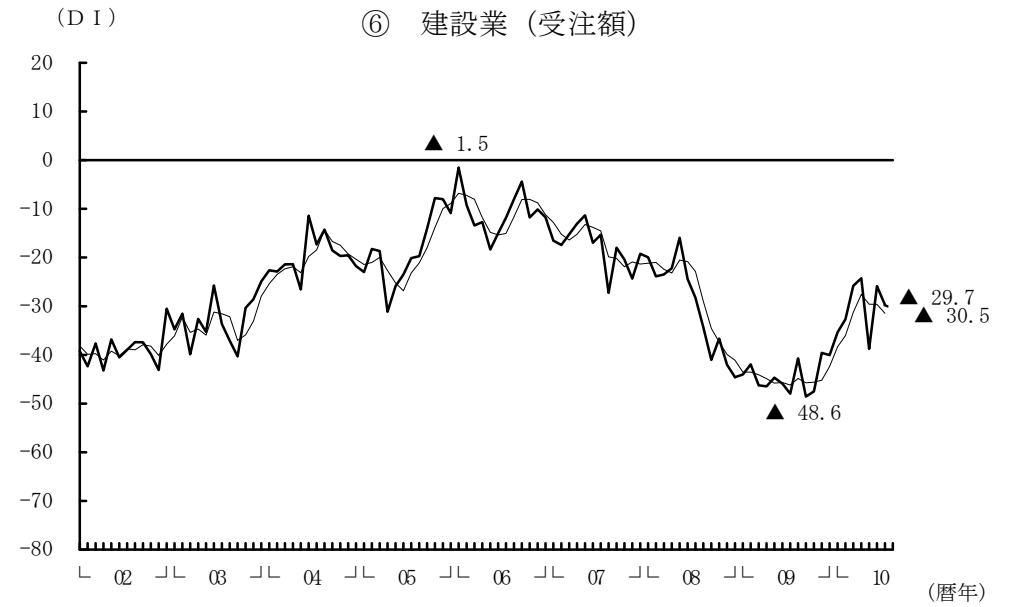
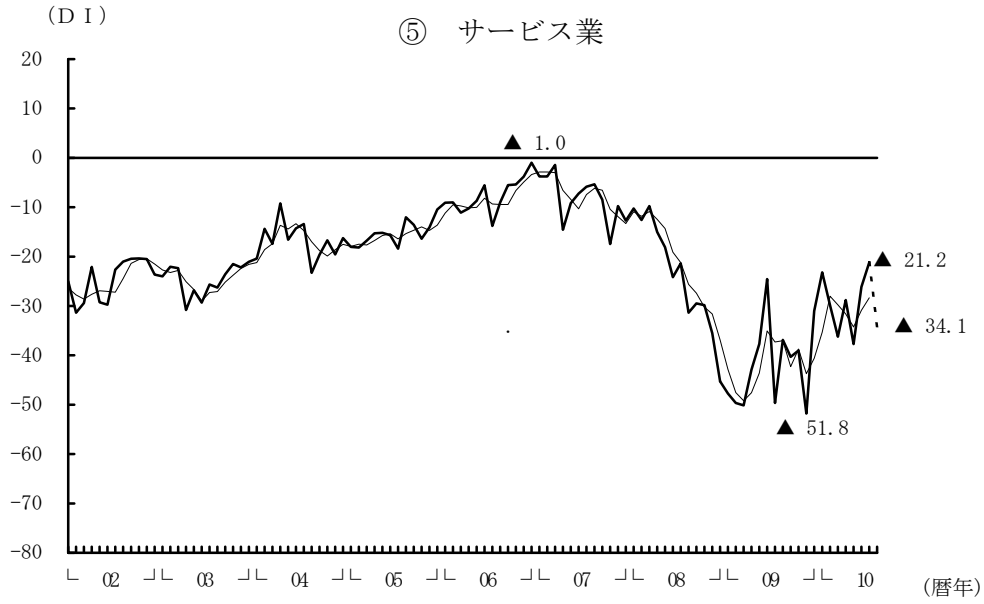
	6月	7月	8月
実績	▲ 30.0	▲ 27.5	-
見通し	▲ 29.7	▲ 25.8	▲ 28.0



(注) 1 D Iは前年同月比で「増加」企業割合-「減少」企業割合
 2 ——— は実績、 - - - - - は見通し

図-2 業種別売上D Iの推移（季節調整値）





(注) 製造業と非製造業の差の白抜き部分は見通し

表 業種別売上D I の推移 (季節調整値)

(見通し)

	2009年								2010年							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
①製造業	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 64.2	▲ 53.4	▲ 55.8	▲ 54.1	▲ 49.4	▲ 41.5	▲ 30.7	▲ 24.7	▲ 15.0	▲ 1.5	▲ 14.2	▲ 4.8	▲ 15.9	▲ 14.3
金属・機械	▲ 80.0	▲ 81.3	▲ 70.8	▲ 71.4	▲ 64.0	▲ 63.2	▲ 49.2	▲ 35.6	▲ 28.3	▲ 20.7	▲ 2.3	▲ 18.3	▲ 2.0	▲ 19.7	▲ 10.0	▲ 4.9
その他製造	▲ 58.4	▲ 54.3	▲ 56.0	▲ 38.2	▲ 50.2	▲ 47.7	▲ 49.3	▲ 45.2	▲ 33.5	▲ 31.4	▲ 29.4	▲ 12.8	▲ 25.1	▲ 24.7	▲ 34.3	▲ 26.8
②卸売業	▲ 57.6	▲ 39.3	▲ 52.8	▲ 53.9	▲ 60.8	▲ 54.7	▲ 74.7	▲ 45.8	▲ 37.7	▲ 26.2	▲ 27.0	▲ 25.8	▲ 31.4	▲ 19.0	▲ 25.4	▲ 24.7
織・衣・食	▲ 47.9	▲ 34.3	▲ 39.6	▲ 34.4	▲ 40.8	▲ 41.9	▲ 51.0	▲ 54.5	▲ 39.9	▲ 35.2	▲ 37.4	▲ 38.3	▲ 24.5	▲ 31.5	▲ 34.5	▲ 25.3
機械・建材	▲ 66.3	▲ 49.8	▲ 62.4	▲ 68.8	▲ 74.9	▲ 69.4	▲ 90.9	▲ 36.7	▲ 35.8	▲ 21.4	▲ 15.6	▲ 11.1	▲ 38.2	▲ 16.3	▲ 17.8	▲ 26.5
③小売業	▲ 49.3	▲ 34.9	▲ 46.2	▲ 41.9	▲ 46.3	▲ 45.0	▲ 50.6	▲ 43.0	▲ 39.7	▲ 40.7	▲ 29.9	▲ 39.7	▲ 39.9	▲ 34.0	▲ 30.8	▲ 29.0
耐久消費財	▲ 40.0	▲ 38.8	▲ 35.6	▲ 40.5	▲ 39.7	▲ 31.0	▲ 47.6	▲ 18.1	▲ 17.3	▲ 18.4	▲ 5.4	▲ 18.5	▲ 21.4	▲ 29.1	▲ 11.2	▲ 8.8
非耐久消費財	▲ 51.9	▲ 34.3	▲ 48.4	▲ 42.6	▲ 45.9	▲ 49.4	▲ 48.9	▲ 47.9	▲ 44.8	▲ 45.9	▲ 36.1	▲ 44.1	▲ 44.5	▲ 35.3	▲ 34.8	▲ 31.1
④飲食店	▲ 33.5	▲ 36.6	▲ 55.5	▲ 51.7	▲ 32.6	▲ 57.3	▲ 64.2	▲ 47.5	▲ 43.6	▲ 41.4	▲ 40.6	▲ 28.5	▲ 44.0	▲ 50.3	▲ 33.4	▲ 29.3
⑤サービス業	▲ 37.7	▲ 24.6	▲ 49.6	▲ 36.9	▲ 40.3	▲ 39.0	▲ 51.8	▲ 31.0	▲ 23.2	▲ 29.9	▲ 36.2	▲ 28.8	▲ 37.7	▲ 26.1	▲ 21.2	▲ 34.1
事業所向け	▲ 50.2	▲ 36.8	▲ 39.1	▲ 37.9	▲ 40.2	▲ 36.9	▲ 43.3	▲ 39.3	▲ 38.0	▲ 36.3	▲ 21.1	▲ 29.0	▲ 39.3	▲ 51.3	▲ 35.3	▲ 25.5
個人向け	▲ 33.3	▲ 21.9	▲ 54.6	▲ 37.6	▲ 40.6	▲ 40.8	▲ 53.7	▲ 28.7	▲ 18.9	▲ 27.7	▲ 38.3	▲ 27.2	▲ 36.5	▲ 19.8	▲ 19.1	▲ 36.4
⑥建設業	▲ 44.7	▲ 45.9	▲ 48.0	▲ 40.7	▲ 48.6	▲ 47.5	▲ 39.6	▲ 40.1	▲ 35.3	▲ 32.7	▲ 25.8	▲ 24.2	▲ 38.8	▲ 25.9	▲ 29.7	▲ 30.5
⑦運輸業	▲ 67.5	▲ 63.9	▲ 71.1	▲ 69.9	▲ 69.0	▲ 60.9	▲ 67.9	▲ 56.6	▲ 48.4	▲ 60.4	▲ 17.7	▲ 37.9	▲ 48.3	▲ 36.3	▲ 41.6	▲ 55.9
道路貨物	▲ 56.5	▲ 59.4	▲ 70.1	▲ 62.6	▲ 62.2	▲ 54.4	▲ 62.2	▲ 49.6	▲ 37.1	▲ 59.1	▲ 4.8	▲ 38.2	▲ 51.3	▲ 29.1	▲ 45.2	▲ 54.8
個人タクシー	▲ 98.0	▲ 73.5	▲ 72.4	▲ 82.3	▲ 84.5	▲ 76.5	▲ 83.6	▲ 72.3	▲ 70.3	▲ 62.7	▲ 47.9	▲ 39.1	▲ 47.2	▲ 52.3	▲ 32.5	▲ 42.4
非製造業小計	▲ 43.3	▲ 34.8	▲ 51.3	▲ 44.2	▲ 44.4	▲ 45.6	▲ 54.1	▲ 41.4	▲ 35.0	▲ 36.5	▲ 33.3	▲ 30.1	▲ 40.1	▲ 33.6	▲ 29.3	▲ 30.7
全業種計	▲ 46.5	▲ 38.8	▲ 52.7	▲ 45.2	▲ 45.9	▲ 46.2	▲ 54.0	▲ 41.3	▲ 34.8	▲ 34.7	▲ 30.6	▲ 26.9	▲ 36.8	▲ 30.0	▲ 27.5	▲ 28.0

(注) 1 網かけは、前月から低下した数値

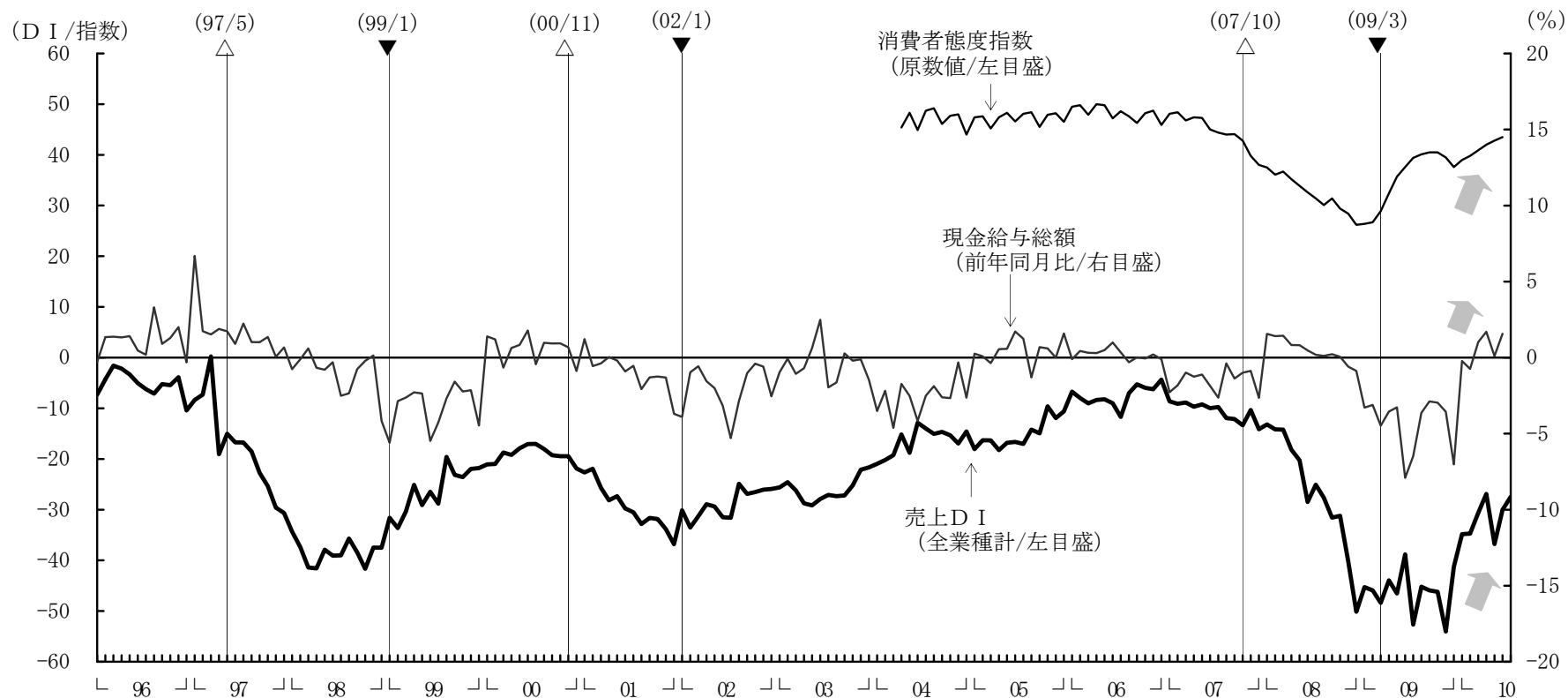
2 斜体のゴシックは、調査開始(93年2月)以来の最低値

<トピックス> 厳しさや和らぐ所得環境、内需中心の小企業にとって追い風となるか

図-4 売上D I（全業種計）と現金給与総額、消費者態度指数の推移

(参考) 現金給与総額の推移 (円、%)

	3月	4月	5月	6月
2009年	273,163	271,711	268,319	430,928
2010年	275,961	276,319	268,592	437,677
前年比	1.0	1.7	0.1	1.6



(資料) 日本政策金融公庫「全国小企業月次動向調査」、厚生労働省「毎月勤労統計」、内閣府「消費動向調査」

- (注)
- 1 D Iは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合
 - 2 現金給与総額は事業所規模5人以上の調査産業計。6月は速報値。
 - 3 消費者態度指数は一般世帯の数値。月次調査は2004年4月からである。